

自分の夢や目標の実現に向けた可能性を広げるために
「社会とつながり 体験する 選択できる 新しい学び」を創造します



方針1

生徒一人一人の資質・能力や可能性を最大限伸ばす学びを推進します。

めざす生徒像

- 課題を発見し、コミュニケーションをとおして協力しながら創造的に解決できる生徒
- デジタル改革が進むこれからの時代に柔軟に対応できる生徒
- 自己の学びを評価、点検、コントロールしながら学び続けることができる生徒
- 多様性、協働性、寛容性を身に付け、異なる考えや価値観を尊重し共有できる生徒

方針2

将来の地域を支える人材を育てるふるさとキャリア教育を推進します。

めざす生徒像

- ふるさと鳥取への思いを持ち、将来どこに住んでいても鳥取県を誇りに思いながら、自分の暮らす地域で活躍できる生徒
- 自立し、自分らしい生き方を実現できる生徒
- 魅力と活力あふれる「元気なふるさと鳥取」を創造し、支えていくことができる生徒

方針3

様々な現代的諸課題に対応し、鳥取県や日本、世界に貢献できる力を育成する学びを推進します。

めざす生徒像

- 持続可能な社会の創り手となるため、新たな価値観を創造できる生徒
- 豊かな国際感覚、人権感覚を備え、ダイバーシティに富んだ世の中で活躍できる生徒
- 鳥取県の豊かな資源や環境を活かし、地域や世界の持続的発展に寄与できる生徒

夢や目標をもって
人生を切り拓く生徒の
育成に向けて

基本計画の観点

1. 前期は、将来の鳥取県を支える人材育成をさらに推進するため、専門学科を整理するとともに、より専門性を高度化します。
あわせて、各地区において規模の適正化を図り、それぞれの高校の魅力化を推進します。
2. 後期（令和13年度～令和17年度）において、新たに普通学科等を加えた総合選択制高校の設置などを検討します。



後期（令和13年度～令和17年度）において、新たに普通学科等を加えた総合選択制高校の設置などを検討します。それに向け、前期では規模の適正化を図り、それぞれの高校の魅力化を推進します。

総合選択制とは

- ・農業や工業、家庭など、異なる専門学科が複数ある学校において、自分が所属する学科の学習だけでなく、興味・関心に応じて、学科の枠を超え他の学科の学習をしたり共通の学習をしたりすることができることが特徴です。
- ・現在は鳥取湖陵高校、倉吉総合産業高校、境港総合技術高校の3校に設置しています。



普通学科等を加えた総合選択制のメリット

- 所属学科の科目を学習することで、高度な専門性を身に付けることができるだけでなく、他学科の科目を学習することで、幅広い知識と柔軟な発想を身に付けることが期待できます。
- 他学科の生徒との関わりの中で、様々な知識、経験に触れ、切磋琢磨する環境となります。
- 近年増加する専門高校における大学等進学希望者への対応強化につなげることができます。
- 大学入試における多様な手法（総合型選抜等）への対応に、普通学科以外の学科での学びが有益です。
- 専門学科において専門知識を身に付けるだけでなく、他学科の学びから価値を見出し、付加価値をつけ、地域経済を活性化する探究学習など、地域に貢献する学びを行います。

より高度な専門的学びを行う点で「総合学科」と異なります。

学びのイメージ

従来の普通学科の学び

現代文
数学 I
英語
生物
発展現代文
応用英語

総合選択制の普通学科の学び

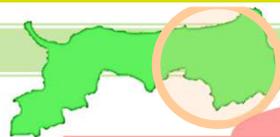
現代文
数学 I
英語
生物
農業（野菜）
商業（マーケティング）

従来の専門学科（農業）の学び

現代文
数学 I
英語
生物基礎
農業（バイオ）
農業（測量）

総合選択制の専門学科（農業）の学び

現代文
数学 I
英語
生物基礎
農業（バイオ）
化学



▲1～2学級程度

（※令和12年4月1日再編予定）

情報1 農業2 家庭1

鳥取湖陵高校

5⇒4学級

工業4

鳥取工業高校

4学級

工業1

鳥取湖陵高校の工業学科を鳥取工業高校に再編します。
（※令和9年4月1日再編予定）

総合選択制による学びをと
おして、幅広い知識や専門
的な先端技術を取得し、地
域産業に貢献する人材を育
成します。

地域企業との連携による先
端技術を活用した学びや教
科等横断的なSTEAM教育を
ととして、社会の持続的発
展に貢献するものづくり人
材を育成します。

商業4

鳥取商業高校

4学級

地域企業と連携した学び
をととして、社会を支え
る人材を育成します。

「規模の適正化を図る基準」を念頭に置きつつ、令和7年度～令和10年度入
試の結果を見て判断し、令和10年度中に学級減について公表します。

<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> <p>農業2</p> <p>智頭農林高校</p> <p>2学級</p> </div> <p>県内唯一の農林業の専門 高校として、地域資源を 活用した体験的学びをと として、地域産業に貢献 できる人材を育成します。 また、遠隔授業を充実し ます。</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> <p>総合2</p> <p>青谷高校 <small>芸術、商業、 家庭、普通</small></p> <p>2学級</p> </div> <p>「小規模校の在り方に関する基準」を引き続き適用し、令和10年度までの 入試状況等を継続的に分析し、募集定員減を見極めます。</p> <p>青谷上寺地遺跡や海など の地域資源を活かした学 びをととして地域社会に 貢献する人材を育成しま す。 また、遠隔授業を充実し ます。</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>普通2</p> <p>岩美高校</p> <p>2学級</p> </div> <p>ジオパーク等観光資源を 活かした学びや地元地域 と連携した学びをととし て地域の持続的発展に貢 献できる人材を育成しま す。 また、遠隔授業を充実し ます。</p>
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>普通6 理数1</p> <p>鳥取東高校</p> <p>7学級</p> </div> <p>理数教育や英語教育のさ らなる推進により、新た な価値を作り出す力を身 に付け、社会を牽引する 人材を育成します。</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>普通7</p> <p>鳥取西高校</p> <p>7学級</p> </div> <p>スーパースサイエンスハイスクールやス ーパーグローバルハイスクールの高 度で深い学びをととし、 社会の進歩・発展に貢 献できる人材を育成し ます。</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>普通6</p> <p>八頭高校</p> <p>6学級</p> </div> <p>高等教育機関や地域と 連携した学びや、看護 医療分野、体育・ス ポーツによる実践的な 学びをととして、地域 貢献型人材を育成しま す。</p>

中部

前期計画（▲1～2学級程度）



▲1～2学級程度

（※令和12年4月1日再編予定）

「規模の適正化を図る基準」を念頭に置きつつ、令和7年度～令和10年度入試の結果を見て判断し、令和10年度中に学級減について公表します。


普通3
倉吉西高校
3学級

「小規模校の在り方に関する基準」を引き続き適用し、令和10年度までの入試状況等を継続的に分析し、募集定員減を見極めます。

地域に密着した課題発見、探究活動をとおして、地域発展に貢献する人材を育成します。
また、地域探究を発展させ、「新しい普通科」の県内初設置を検討します。


普通3
鳥取中央育英高校
3学級

地域との連携のもと、スポーツによる地域振興や地域探究の取組により、地域発展に貢献する人材を育成します。（競技スポーツ、スポーツ指導者、生涯スポーツ等、幅広くスポーツに関連した人材育成）


農業3
倉吉農業高校
3学級

広大な農業実習地における実践的で高度な農業教育や最新のICT技術や土木施工管理に関する知識・技術の習得により、農業経営者及び社会の基幹となる産業の持続的な発展を担う人材を育成します。


普通5
倉吉東高校
5学級

国際バカロレア教育の理念を生かした教育活動をとおして、未来をリードするグローバル人材を育成します。


工業2 商業1 家庭1
倉吉総合産業高校
4学級

地域との連携・交流による実践的な学びや学科を超えた総合選択制による学びをとおし、地域貢献型人材を育成します。

西部

前期計画（▲2～3学級程度）



▲1学級程度（※令和12年4月1日再編予定）

「規模の適正化を図る基準」を念頭に置きつつ、令和7年度～令和10年度入試の結果を見て判断し、令和10年度中に学級減について公表します。

普通7
米子東高校

7学級

スーパーサイエンスハイスクールの学びや生命科学コースでの医療人材育成をおとし、地球規模での課題解決を図る人材を育成します。

普通5
境高校

5学級

地域資源を活かした探究的な学びをおとし、地域貢献型人材を育成します。

普通7
米子西高校

7学級

地域課題解決型の学びや高等教育機関との連携による探究的な学び（ふるさと教育）をおとし、持続可能な社会を創造する人材を育成します。

商業3 家庭1
米子南高校

4学級

ビジネス、調理、家庭分野の専門的な学びをおとした新しい価値の創造する地域貢献型人材を育成します。

工業1 水産2 福祉1
境港総合技術高校

5⇒4学級

工業1

境港総合技術高校の工業学科の一部を米子工業高校に再編します。（※令和9年4月1日再編予定）

海洋実習船「若鳥丸」や自動車実習設備、介護実習設備などを活用し、地域の産業界におけるプロフェッショナルを育成します。

工業5
米子工業高校

5学級

企業や専門人材との連携による工業実習等をおとし、社会の基幹となる産業の持続的発展を担う人材を育成します。

総合4
米子高校

4学級

芸術・スポーツ
商業・情報、農業
福祉・保育、普通

地域・企業と連携した体験的な学びや文化・芸術活動をおとし、新しい価値を創造する地域貢献型人材を育成します。

総合1
日野高校

2⇒1学級

農業、普通
家庭・福祉

「小規模校の在り方に関する基準」及び近年の入学者数の推移、今後の中学校卒業生数の推移を踏まえ、▲1学級とします。（※令和9年4月1日再編予定）

日野郡の自然や地域資源を活かした農林業、福祉に特化した学びをおとした地域貢献型人材を育成します。また、遠隔授業を充実します。



スケジュール

前期（令和8年度～令和12年度）

R7.3 基本計画公表

- <公表内容>
- ・工業学科再編
（鳥取工業、鳥取湖陵、米子工業、境港総合技術）
 - ・日野高校再編
 - ・普通学科、総合学科、小規模校再編可能性学校名

R8.3 整備計画公表

- <公表内容>
- ・再編対象高校の具体的教育内容

R9.4 計画実施

鳥取工業
鳥取湖陵
米子工業
境港総合技術
日野

R10.10 基本計画、 整備計画 (追加)公表

- <公表内容>
- ・普通学科、総合学科、小規模校再編対象学校名
 - ・再編対象高校の具体的教育内容

R12.4 追加分 計画実施

後期（令和13年度～令和17年度）

R10.10 基本計画公表

- <公表内容>
- ・再編対象学校名

R12.3 整備計画公表

- <公表内容>
- ・再編時期
 - ・再編対象高校の具体的教育内容

R13～ 計画実施



参考資料①

小規模校の在り方に関する基準

■ 1学年あたり3学級の学校について

入学者数が、2年連続して募集定員の3分の2に満たない場合は、原則として、募集定員を1学年2学級とする。ただし、この基準の適用に当たっては、県全体の学科の配置状況等を考慮する。

■ 1学年あたり2学級以下の学校について

入学者数が、2年連続して募集定員の2分の1に満たない場合は、特色ある取組の推進状況や通学等にかかる地理的・経済的な家庭の負担等を踏まえ、分校化や再編、全国からの生徒募集など新たな特色の設定等を選択肢とし、3年程度を目途に当該学校の在り方を検討する。

■ なお、人口減少社会の中で少子化対策や雇用の創出などに取り組んでいる本県の状況を踏まえ、地域と連携した人材育成など小規模校ならではの特色ある取組を推進している学校については、その存続に最大限の努力を払う。

規模の適正化を図る基準

■ 中学校卒業生数の減少を踏まえ、前期中に240人程度の募集定員減を目途に規模の適正化を図ることとし、原則、学校数は維持したまま、学科の集約や学級減による整理、再編を進める。



参考資料②

規模、配置等の考え方（前期、後期共通）

- 標準的な学校規模は3学級以上とします。
- 東中西部地区にそれぞれ商業の分野、工業・情報の分野、農業・水産の分野、家庭・福祉の分野を学べる高校を設置します。
- 本県ならではの資源を活かした特徴的な学科（コース）は設置を継続します。
- 県立高校すべてを小規模化した場合、県立高校全体の活力低下が危惧されるため、一定の配慮が必要であり、一定規模の高校を配置することを検討します。
- 特に専門学科と中山間地域の高校においては、環境や学習内容を踏まえた柔軟な定員設定を検討します。
- 県立高校における少人数学級の実施について、その効果や財政負担を十分に検証し、慎重に検討を進めます。
- 今後の中学校卒業生数の減少を踏まえ、県外生徒募集について全県立高校での導入を検討します。あわせて、地域と連携した住環境整備や各地区における寮の整備などについて、今後も検討を進めます。
- 専門学科の高校における専攻科の設置について調査・研究を行います。

前期計画の方向性

各高校の特色化をより推進し、主に中山間地域の高校や地域における人材育成を図るための専門高校についての整理、再編などを検討し、より専門性を高度化します。

- ①中学校卒業生数の減少を踏まえ、前期中に240人程度の募集定員減を目途に規模の適正化を図ることとし、原則、学校数は維持したまま、学科の集約や学級減による整理、再編を進めます。
- ②現基本方針における「小規模校の在り方に関する基準」を引き続き適用します。
- ③特に、中山間地域の高校は、地元自治体等地域との関わりを考慮したうえで、地域における高校の役割が大きい場合には、1学年あたり2学級以下の学校規模であっても小規模校として設置するとともに、次の取組を実施します。
 - ・地域外から生徒を呼び込むことのできる特色あるカリキュラム編成を検討します。
 - ・地元自治体等と協力した学生寮等住環境の整備を図ります。

本計画は、中学生の入試動向、中学校卒業生数の推移が現時点の推計どおりに進行するとともに、社会情勢や国・県の施策等に大きな変更がない場合のものであり、想定と異なった状況が発生した場合には計画を変更することも想定しています。